



宇宙から帰還した カウボーイハット

つもりか」という趣旨の、ベズス個人に
対する風当たりも強いものでした。

宇宙開発は、これまで国による公
益のための事業でした。軍事や通信
はもちろんのこと、人類の居住環境の
可能性の開拓とか、汚染物質を出
してしまふ産業のための土地の開拓
だとか、多くは合理的な目的を担っ
ていました。

その事業が民間の富豪の手にも許
されるようになったことで、一気に宇宙
がラグジュアリー領域に入ったのです。
「何のために？」という合理的な目的
から解放され、「行きたいから行く！」
というワクワクするような非合理的
な夢ないし願望をかなえるための宇
宙が解放されたのです。

旅ばかりではありません。ソニーは
東京大学、JAXA（宇宙航空研究
開発機構）と共同で人工衛星を開発
し、人工衛星の撮影権を一般に解放
して1枚数万円程度から販売する
「STAR SPHERE（スターズ
フィア）」というサービスを発表しまし
た。地球にいながらにして、人工衛星
の視点、つまり宇宙視点から、地球の
好きな場所を撮影することができると
いうサービスです。これまで宇宙に
滞在した経験のある人類は約600
人。でもこの世界初のサービスによつ

て、数十億人が宇宙からの視点を獲得
できるようになるのです。いわば宇宙
視点の民主化です。

おそらくこの体験が、多くの人の
宇宙観、地球観、人間観、ひいては生
命観を根底から変えるのではないかと
推測しています。地上にへばりつい
たグローバルズムから脱却して、「宇
宙に暮らす地球人」としての高い視
点を獲得できることで、地上の諸問
題への向き合い方が大きく変わるの
ではないでしょうか？

さしあたって「役に立つ」機能はな
い純粋なラグジュアリーを追求するこ
とが、人間の精神のフロンティアを開
拓することにもつながることを期待
させてくれます。叩かれても馬耳東
風なベズスのカウボーイハットが、精神
のフロンティア開拓者の象徴にも見え
てきます。

2021年は、民間による宇宙ビジ
ネスが本格的に始動した、宇宙ビジ
ネス元年でした。

アマゾン創業者ジェフ・ベズスの「プ
ルーオリジン」、ヴァージングループ創
業者リチャード・ブランソンの「ヴァー
ジン・ギャラクティック」が10分間の宇
宙旅行のサービスを開始しました。
イーロン・マスクの「スペースX」も宇宙
滞在できるサービスを始め、前澤友
作氏はロシアのサービスで宇宙ステー
ションに滞在し、宇宙から見える地球
の写真をインスタグラムに投稿しま

した。ベズスがカウボーイハット姿で
着陸後のカプセルから降りてきたこ
とをはじめ、彼らの自由で楽しげな
言動から、お金持ちロックンローラー
が競って宇宙体験を楽しんでいると
いう風情に見えました。

これに対して批判も百出しました。
英ウィリアム王子は、「宇宙に向かう
富豪は、その偉大な頭脳と知性を傷
ついた地球の修復のために使うべき」
と。また、「劣悪な労働環境の下で働
くアマゾンの労働者たちに代償を払
わせて、高額な宇宙旅行とは何様の



なかのかおり

1962年生まれ、
富山市出身、服飾
史家として研究講
演・執筆をおこな
うほか、企業の顧問を務める。株式会社
Kaori Nakano代表取締役。東京大学
大学院修了。英国ケンブリッジ大学客員
研究員、明治大学特任教授などを務め
た。著書に、「[イノベーター]で読むア
パレル全史」（日本実業出版社）、「ロイ
ヤルスタイル 英国王室ファッション史」
（吉川弘文館）ほか多数。3月に「新ラ
グジュアリー宣言（仮）」を共著で出版予定。

うほか、企業の顧問を務める。株式会社
Kaori Nakano代表取締役。東京大学
大学院修了。英国ケンブリッジ大学客員
研究員、明治大学特任教授などを務め
た。著書に、「[イノベーター]で読むア
パレル全史」（日本実業出版社）、「ロイ
ヤルスタイル 英国王室ファッション史」
（吉川弘文館）ほか多数。3月に「新ラ
グジュアリー宣言（仮）」を共著で出版予定。